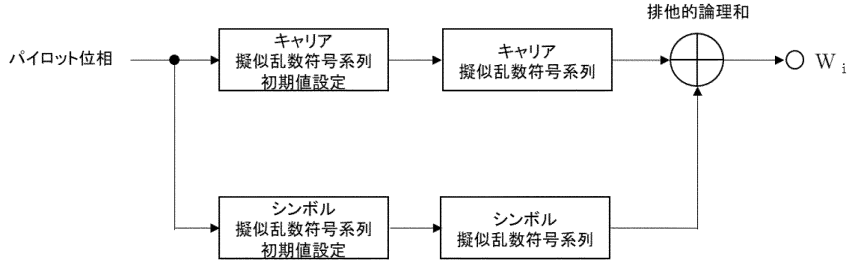
別表第二十号の十一　SPシンボル、CPシンボル及びBPシンボルの構成（第23条の12第１項関係）

［新設］

１　サブフレーム区間におけるSPシンボル、CPシンボル及びBPシンボルの構成

下図に示すとおり、キャリア擬似乱数符号系列及びシンボル擬似乱数符号系列の出力の排他的論理和を出力ビットW_iとし、出力ビットW_iに対し二相位相変調のためのキャリア変調マッピングを行うこととする。



注１　キャリア擬似乱数符号系列は、$X^{15}+X+1$（15次M系列）により発生するものとし、発生器は別記１に示すとおりとする。

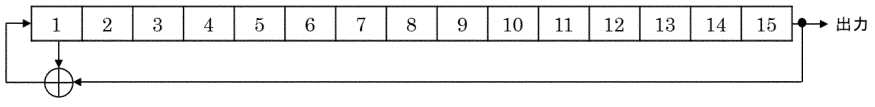
２　シンボル擬似乱数符号系列は、$X^{11}+X^{9}+1$（11次M系列）により発生するものとし、発生器は別記２に示すとおりとする。

３　変調信号の振幅は、別記３に示すとおりとする。

２　TMCC区間におけるCPシンボルの構成

１に示すサブフレーム区間におけるSPシンボルの構成を準用する。ただし、パイロット位相は０を用いることとし、SPシンボルブースト比は別記４、ブースト比は別記５に示すとおりとする。

別記１　キャリア擬似乱数符号系列の発生器



注　シンボルの先頭で全てのレジスタについて１を初期値としてセットした後、TMCC情報により示されるパイロット位相にセグメント当たりのサブキャリア数を乗じた数に相当するクロック数を経過した後の状態を初期状態とし、全帯域の左端のキャリアから右端のキャリアまで連続させて擬似乱数符号系列を発生させる。

別記２　シンボル擬似乱数符号系列の発生器

